

なのはな だより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **75**
March 2014



ケアセンター習志野「納涼祭の盆踊り」

INDEX

①

トレンドTOPIX 潮流
ちばつじゆつ

消費増税対応14年4月改定
介護報酬単位提示 !!

フォーカス「老健ちば」

③
④

〈管理者研修会〉
〈リスクマネジメント研修会〉

⑤
⑥

〈特集こころほうレポート〉
「介護老人保健施設 佐倉ホワイエ」
3分間の深呼吸による自律神経刺激の試み

⑦

〈研修会報告〉
自由気ままに
ペーパーブログ

「なんとなくアニマルセラピー」

介護老人保健施設はみんぐ
竹内ヒカル(セラピスト)

広報委員会

広報委員会の新メンバーです！

〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

- さかき光陽
- ゆうあい苑

〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

平成26年3月19日 発行

● 発行者/千葉県老人保健施設協議会 ● 編集者/広報委員会

● 〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-250-7352 FAX:043-286-0661

トレンド TOPIX 潮流

ちょうりゅう

ニ
ユ
ー
ス
ウ
オ
ツ
チ

消費増税対応 14年4月改定 介護報酬単位提示!!

消費税率改定に伴う介護報酬の上乗せについて、 各サービスの単位案を示した!

厚生労働省は1月15日、社会保障審議会介護給付費分科会を開き、14年4月の消費税率改定に伴う介護報酬の上乗せについて、各サービスの単位案を示した。同分科会はこの了承。要支援1から要介護5までの区分支給限度額も引き上げる。

今回の報酬改定は、14年4月の消費税8%への増税に対し、介護サービス事業者損分を補填するためのもの。昨年12月24日に発表した同省予算案では、全体でプラス0.63%の上乗せとし、給付費ベースでは約530億円を見込んでいる。

基本報酬の上乗せ率は、人件費やその他非課税品目を除いた「課税割合」に消費税増税時の費用増となる「105分の3」を乗じて算出される。

サービスごとの課税割合の確定値は、公定価格の設定がない福祉用具貸与の49.4%

を除くと、通所リハビリテーションの28.7%が最も高く、次いで介護療養施設28.5%となっている。一方、最も低いのはグループホームの13.5%で、居宅介護支援14.6%、地域密着型特定施設15.4%と続く。

また、加算の上乗せについては、所得に係る課税費用の割合が50%以上のものに限り加算単位そのものをアップする。対象となったのは、次の3つ。

- ・老健、(予防)短期入所療養の緊急時施設療養費の「緊急時治療管理」
- ・老健の「所定疾患施設療養費」
- ・介護療養施設(予防)短期入所療養の特定診療費の「重度療養管理」

課税費用割合が低い加算、また単位そのものが小さく上乗せができない加算については、算定率などを加味し基本報酬の上乗せで対応する。

14年改定報酬単位の一例

介護サービスの種類			単 位	
			改正後	現 行
居 宅	訪問介護 身体介護中心	30分以上1時間未満	404	402
	訪問リハビリテーション	1回につき	307	305
	訪問看護	30分以上1時間未満	834	830
	通所介護 通常規模	要介護5(7~9時間)	1197	1188
	通所リハビリテーション 通常規模	要介護5(6~8時間)	1283	1271
	居宅介護支援 40件未満	要介護3~5(1月あたり)	1306	1300
施 設	介護老人福祉施設 従来型個室	要介護5(1日あたり)	863	858
	介護老人保健施設 従来型個室	要介護5(1日あたり)	932	925
地 域 密 着	定期巡回・随時対応型訪問介護看護 一体型	要介護5(1月あたり)	30623	30450
	小規模多機能型居宅介護	要介護5(1月あたり)	28305	28120
	認知症対応型共同生活介護	要介護5(1日あたり)	890	886

新区分支給限度額

	居宅介護サービス	
	現行	見直し案
要支援1	4,970	5,003
要支援2	10,400	10,473
要介護1	16,580	16,692
要介護2	19,480	19,616
要介護3	26,750	26,931
要介護4	30,600	30,806
要介護5	35,830	36,065

(シルバー産業新聞2/10記事一部抜粋)

フォーカス 老健 ちば

管理者研修会報告

平成26年1月17日(金)、京成ホテルミラマール6階ロズルームにおいて、33施設総勢38名参加の下、平成25年度管理者研修が開催されました。

平山会長の挨拶の後、千葉県健康福祉部医療整備課長、山崎晋一郎氏より、「今後の県における保健医療施策について」と題しお話をうかがいました。千葉県の現在と今後の状況を、様々なデータで示されました。千葉県は、高齢化率全国2位、医療提供施設が全国44位、医師数、看護師数においても全国ワースト3に入るといふ不本意な状況です。そんな中、医師確保、看護師養成施策に積極的な取り組みを行っていくとのことでした。



公益法人社団
全国老人保健施設協会
常務理事
本間 達也 先生



次に、公益法人社団全国老人保健施設協会常務理事、本間達也先生をお迎えし、「次期介護報酬改定に向けた地域に選ばれる老健経営について」ご講演いただきました。

本間先生は、生愛会ナーシングケアセンターの理事長及び、福島県老人保健施設協会

の会長でもあり、また介護支援専門員、認知症ケア専門士等の資格も持ちこたえています。

平成15年当初、2%だった在宅復帰率を現在の60%まで引き上げた、施設のく在宅強化型施設達成維持への道のりくを、具体的な内容でお話ししていただきました。本間先生自ら、何度も職員研修をし、まず職員の意識改革を実施。法人・施設全体で目標を設定し方向性を統一することが重要だとお話されました。

また、強化型になった後も、95を維持していた稼働率が85まで落ち込んでしまったこと、他さまざまな問題が発生し苦勞されたこと等、現状に則した共感できるお話だったので、最後まで興味深く聞くことができました。

本間先生の、「収入面では、強化型と従来型では、月177万円もの収入の差がある。しかしながら、ただ在宅復帰させれば良いという問題ではない。「在宅復帰」という言葉は、施設側と利用者・家族とは意味が違う。いかに在宅に老健の機能(専門家の手と目)を届けることができるか?この課題に取り組んでいる老健は在宅復帰率が高いー安心して在宅復帰ができる支援が老健の使命!」ということが印象的でした。

その後の懇親会では、参加者同士の親睦と意見交換が図られ、和やかに閉会いたしました。

リスクマネジメント研修会報告

平成26年1月27日(月)、千葉県教育会館にて、「リスクマネジメント研修会」が開催されました。講師は、フォーサイツコンサルティング代表取締役 浅野 睦先生です。

午前中の講義は、「リスクがあるから止める」という結論のみならず、それはマネジメントではない。」と、穏やかな口調ながら核心を突く言葉から始まり、リスクマネジメントの構造、ヒューマンエラー、SH ELL分析等、リスクに対する考え方を理解する為の内容が行われました。午後はグループワークで、事故報告書に必要な記載、事故の再発予防や未然に防ぐ為の観点を意見し合いました。

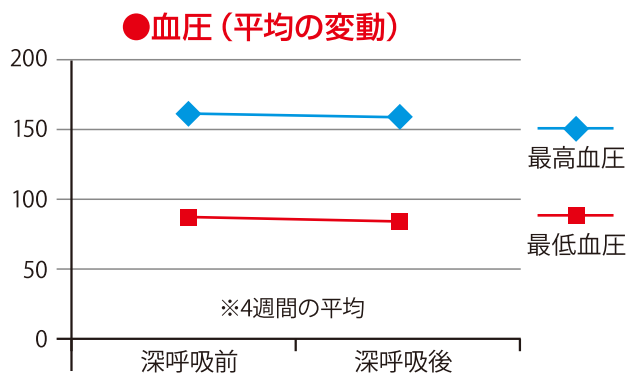
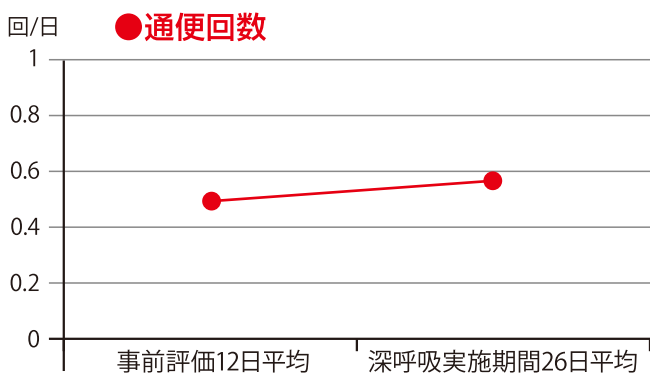
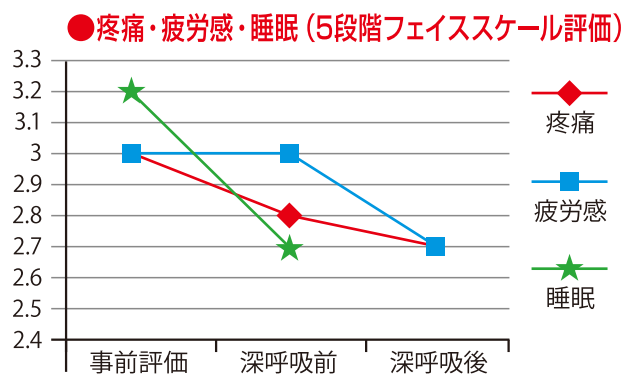
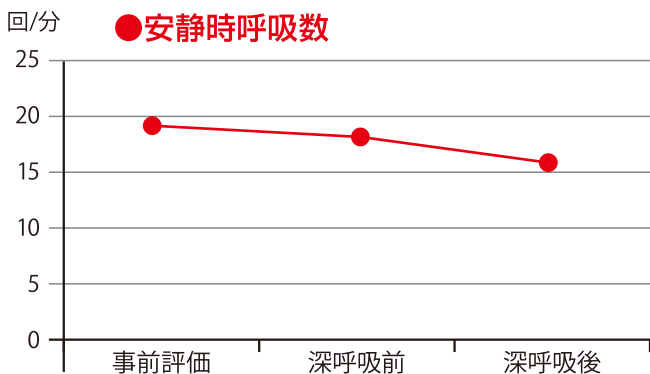
運営理念が元にあるリスクマネジメントが各々に必要と、浅野先生は仰られました。研修に参加された皆様は、施設の理念と現状とを思い浮かべながらの御聴講であったと思います。何の為のリスクマネジメントであるか、根幹にある目的を、その手法を、再確認する貴重な機会となりました。





深呼吸の効果が見えてきた!

5名の平均値の変化をまとめたグラフからも分かるように、深呼吸を実施してからは安静時呼吸数が低下し、通便回数は増加。疼痛・疲労感・睡眠の質が改善。血圧も低下するという結果になりました。今回の研究では3分間の深呼吸は長期的に継続することで、自律神経のバランス改善に効果があるという期待が持てました。



自律神経刺激の可能性はさらに広がります!

日本では急速な高齢化が進み、医療費の増大も大きな問題になっています。今回、生活の中に3分間深呼吸をする習慣を取り入れるだけで様々な辛さが軽減する可能性が見えました。深呼吸以外にも方法はたくさんあると思います。外に出て日に当たりながら景色を見たり、話を聞いたりするだけでも痛みなどの訴えが減った経験をしたことがあります。高齢化に伴う悪い流れを変革する意味でも、今後は身体だけでなく心の問題にも触れた研究を発展させていくことが求められると考えます。



介護老人保健施設 佐倉ホワイエ

住所：〒285-0025
佐倉市鎗木町336
開設：平成2年12月21日
定員：入所／80名
通所／60名



介護老人保健施設「佐倉ホワイエ」

『3分間の深呼吸による自律神経刺激の試み』

去る平成25年12月17日、京葉銀行プラザにて開催された「千葉県老人保健施設協議会 平成25年度研究事例発表大会」。みごと最優秀賞に輝いたのは『3分間の深呼吸による自律神経刺激の試み』でした。今回は佐倉ホワイエに理学療法士の金子正樹さん、黒川修一さんを訪ね、受賞を果たした取り組みの様子を見学取材させていただきました。



どうして深呼吸？

高齢者に多い疼痛、不眠、便秘の訴え。原因の一つは自律神経のアンバランスにあると考え、生活習慣に変化を加える事でこれを軽減できないかというのが狙いでした。いろいろと検討した結果、健康に良いと注目されているヨガの呼吸法にヒントを得たのが「3分間の深呼吸」です。

こんな方に協力いただきました

協力していただいたのは佐倉ホワイエに入所されている女性4名、男性1名の計5名。年齢は69歳～92歳で、うち4名が骨折を、1名が脊椎損傷を患っておられます。自己評価を行っていただく必要があるため、ある程度認知がしっかりしている方に協力していただきました。



どうやって進めたの？

PT(理学療法士)が週3回、協力者に個別訪室して吸気:呼気の割合が1:2になるような呼吸法を指導しながら、3分間本人のペースで深呼吸を繰り返してもらいました。そして深呼吸実施直後の安静時呼吸数と血圧を測定。調査期間中の看護記録から通便回数を評価しました。また対象者の自己評価で疼痛・疲労感・睡眠の質も記録しました。深呼吸を実施していない2週間の事前評価と実施後4週間の測定結果を比較して評価を行いました。評価期間中に服薬の変更はありませんでした。

研・修・会・報・告

第2回支援相談員部会



岸根副部会長 (夢プラスワン) 藤代部会長 (深 深) 仲内副部会長 (とよさと)

平成26年2月24日(月)ホテルポルトプラザちばを会場に「平成25年度第2回支援相談員部会」が開催され、57施設79名の方々の参加がありました。

今回は、柳原リハビリテーション病院の副院長として活躍しておられる、新舎規由先生を講師にお招きし、「在宅復帰に繋がる効果的なりハビリテーション」というテーマで講義を行っていただきました。老健の役割の一つである「在宅復帰」ですが、なかなか要介護高齢者の在宅復帰は容易ではないのが現状です。新舎先生は、患者個人に合わせた独自のリハビリテーションプログラムを構築、実施することで、在宅復帰率97%を達成された実績をお持ちであり、在宅復帰を目指す上でのポイントについてお話を伺うことができました。新舎先生は、在宅復帰に向けての外出・外泊訓練を推奨されており、入院1〜2週間という早い段階であえて外出・外泊を実施し在宅に帰った時に何が困るのか、具体的な問題点を抽出し、治療にフィードバックし

ているそうです。

老健施設においても参考となる点が多々あり、大変勉強になりました。

講義終了後には質疑応答の時間を設けましたが、受講者の方々からの質問も多数あり、充実した研修になりました。

今年度の支援相談員部会は、今回の「在宅復帰に繋がる効果的なりハビリテーションについて」と、「心理カウンセラーに学ぶストレスマネジメント」というテーマで開催し、支援相談員研修会は「これからの相談援助職に求められるもの」というテーマで、それぞれ講師の先生方をお招きし、開催させていただきました。

これらの研修に参加された支援相談員の皆様は、研修を通して得た知識、学んだ事を今後の業務に活かしていただければと思います。



参加者の感想



社会福祉士 佐藤 幸 (しらゆり)

今回の研修に参加させていただき、あらためて私たち老健施設の役割(利用者様の在宅復帰)を再認識することが出来ました。

当施設「しらゆり」は平成23年12月に開設して、やっと3年目を迎えたところです。これまでは、まず利用者様にケガやトラブルの無いように安全に受入れすることとで精一杯でしたが、3年目を迎えた今、少しでも多くの利用者様が住み慣れたご自宅へ戻れるようにチーム一丸となってケアやりハビリを充実させる時期にきたと感じております。

今回の「在宅復帰に繋げる」という視点に立った時、「自宅へ帰ることで良くなる機能がある(意欲・社会性の回復)」「リハビリのゴールを明確に」「入所後取返して早期の外泊、早期の課題発見(家屋調査の充実も)」等々あらためて当施設でも取り入れたい視点が多々ありました。これからは「しらゆり」で在宅復帰の夢が叶う、そんな施設になれるようにより一層努力していきたいと思えます。

シダックスグループは、約3,200の店舗・施設で一日平均約60万食を提供するフードサービスを中心に、売店や車両運行管理など、様々なサービスを一括受託するトータルアウトソーシングサービスを提供する「総合サービス企業」です。

はぐくむ、大切なことのすべて



東京都渋谷区神南 1-12-13 渋谷シダックスビルレジ
TEL.03-5784-8881(代表) http://www.shidax.co.jp



『なんとなくアニマルセラピー』

介護老人保健施設はみんぐ

竹内 ヒカル(セラピスト)

わたしは3才のチワワとミニチュワダックスのミックスマスのヒカル。チャームポイントは右だけ立っているお耳です。去年の春からセラピストとしてリハビリの仕事をしているお母さんの職場でお手伝いをしています。

仕事は月に1回。前の日にシャンプーも済ませて準備万端におしゃれをします。朝からお母さんと一緒に出勤です。

勤務内容はロビーやベランダ・中庭でキャッチボールをしたり、膝に抱っこしてもらってくつろぐこと。お散歩に連れて行ってもらうこともあります。わたしは楽しく過ごしているだけなのになんだか喜んでもらえるからお仕事は大好き。中でもお気に入りはお褒美にみんなから少しづつもらえるおやつ♡ご褒美があるからうれしさも倍増です。

お仕事はじめたばかりのころは緊張して抱っこしてもらっても落ち着かなかつたりしていたけれど今はもう大丈夫！抱っこしてもらってゆっくりにお昼寝だつ



てできます。

お母さんは「ヒカルが来るといつもはお部屋から出てこない人もお外に出てくれるんだよ」とか「いつもは見られない笑顔が見られるんだよ」と言ってくれます。

今では「ヒカルちゃん今度いつ来るの?」と楽しみにしてもらっているのわたしも張り切ってます。

まだまだセラピー犬と言えるほどではありませんが、つか立派なセラピー犬として常勤になって山のようなおやつをもらえるようになることが私の夢です。

Information

広報委員会の 新メンバーです!



河野 壮彦
(まくはりの郷)

12月から新たに広報委員として活動する事になりました河野壮彦と申します。千葉市の幕張町にある老健「まくはりの郷」の介護科長として日々介護に勤しんでいます。他の事業所の仲間の方々と一つのものをつくりあげていく、という役割を任せられるのは今回が初めての経験になります。役割が自分に務まるのか不安でいっぱいな気持ちと、広報委員会の活動を通じて自分自身が成長できるのでは?といった期待とが入り混じっています。現場の介護職としての視点を持ちながら日々の取材活動に臨み、介護の楽しさを分かち合えるような情報・ニュースを発信していこうと思えます。期待に応えられる力が現在の自分にあるかわかりませんが、メンバーの皆さんの力をお借りして明るく、楽しく・真面目に広報委員として頑張っていきたいと思っていますので宜しくお願いします。

福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。

URL: <http://www.ingenious.co.jp>
TEL: 048-257-2948

～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー

INGENIOUS 福祉車両のどんなことでも
インジニアス株式会社
〒332-0031 埼玉県川口市青木 3-12-11

なののはな スマイル

明るく! 元気!
施設の笑顔をご紹介します!



■ さかき光陽

平成26年度に設立20周年を迎えるさかき光陽は、柏市の南部、松戸市と隣接した地域に位置し、法人の理念である「看る人も 看られる人も 幸せに」の実現に向かい、毎月行事を開催しております。そのなかでも特にご利用者様からご好評頂いている「春」「夏」「冬」に施設全体で開催する「三大大行事」については、地域のボランティア、ご家族様にもお越し頂き、明るく賑やかな雰囲気を楽しんで頂いております。これからもご利用者様ご家族様に安心、安全な生活をお過ごし頂けるよう、職員一同努めてまいります。

住所：柏市酒井根40-1
電話：04-7174-7078
開設日：平成6年5月26日
入所：100名
通所：40名



ご利用者様の笑顔が元気の素です!
私も人生の先輩方の元気の素と
なれるようがんばります!!

●さかき光陽
介護福祉士 山影 由美



■ ゆうあい苑

『急性期から慢性期までの地域の健康と福祉のために貢献する』が法人理念である有相会。その組織に属する当施設は、在宅へスムーズに戻れるよう一日の生活全てがリハビリと意識し多職種連携のもと日々支援しています。子育て中の職員が安心して働けるように保育室も併設されています。保育室の子どもたちと入所者が一緒に施設行事を行うなど楽しい毎日が過ごせるような工夫もされています。心に寄り添う施設であり続けたいと考えています。

住所：花見川区柏井町1132-1
電話：047-480-2111
開設日：平成18年3月1日
入所：100名
通所：80名



仕事に育児に奮闘する毎日ですが、育児中のママも多くお互いに助け合いながら頑張っています。入所者一人ひとりと向き合いながら、活気あふれる職場を目指し、笑顔を大切にしていきます。

●ゆうあい苑
介護 副主任 古屋 久美子



● 編集後記

- 今号が広報委員としての初仕事となりました、河野壮彦です。宜しくお願いします<(_>)2月中旬の大雪。。。大変でした!! 家で雪をかき、職場で雪をかき、そして送迎先でも雪をかきました。体は筋肉痛になりましたが、なんとか通所・施設共に断らずに営業できました。利用者様やご家族からは多くの感謝の言葉をいただき、改めて地域に必要とされる老健でありたいと思いを新たにしましたo(^o^o(河野)
- 2月の記録的な大雪の影響でしょうか、例年よりも春の訪れが遅い今日この頃です。当施設では、年間2大イベントの一つである「桜祭り」の準備を進めている最中です。一方で、4月からの消費税アップ、在宅復帰への取り組み、職員確保、改正に向けての情報収集等、来年度は課題山積という感じです。そんな中、私にとって広報委員活動は元気をくれる場なので、今後も心と身体の健康に留意しつつがんばりたいと思います★(^-^)/(坂本)
- 今年は年明けに入院してしまいました(T_T)後厄なので厄が続いているのでしょうか?入院してみて少し痩せたかと思いますが気のせいかもしれません。お酒は辞めてますけどね...心機一転、気持ちを切り替えたいと思います。新年度は「なののはなだより」をもっと皆様に親しみやすいものにしていきたいと思っています。今後ともよろしくお祈りしま〜す(^o^)/(神作)

- 今年の大雪には、大変驚かされました。一度目の雪の時は、子供もはしゃいで外で遊んでいましたが、2度目の時は、家の中でゆっくりしていました。たまに降るのは楽しいですが降りすぎは困りますね(*p*)(佐々木)
- 私が老人保健施設で働き始めたのは平成10年でした。あつと言う間に16年目です。多くの出会いがありました。利用者や周囲の方々に育ててもらっています。なののはなだよりも会員の皆様と一緒に作り上げています。お顔も存じ上げない方に原稿をお願いする事もあります。皆様とても優しく対応して下さい、時に励ましのお言葉を頂戴します。同じ老人保健施設で働いているお仲間と、支え合えることがとても嬉しい活動です.+.(^-.^).+.(若林)
- 大雪に悩まされた冬も終わり、桜が咲き始める季節がやってきました。4月からの消費税増税に対応する介護報酬の改定が発表されました。介護サービスの費用構造を推計しての数値を示したのですが、いくら考えても理解不能の数値です。おまけに食費・居住費の基準費用額については据え置きです。アベノミクス効果で景気回復は図れたものの、実質賃金指数は連続してのマイナスです。さて、心の中の桜はいつになったら咲くのでしょうかe=(o.o*)(斎藤)